

土曜 ライフ・楽しむ

安全唱え 雪の冬乗り切ろう

わたし色

生活情報誌「悠悠と。」

編集長・真鍋康利さん



——安全と判断できる基準が明確で安心できる」、「安心安全——安心できるような的確な安全基準を設定する」と理解しているのですが。

「うわーっ」と叫んでいました。この冬初めて結構な量の雪が降り、気温も低かったある朝、とても怖い目にあいました。毎日通勤で車を走らせる道路でスピードを落とし切らないうちに下り坂に入ってしまった、ハンドルを取られて左のガードレールにぶつかりそうになったのです。

エンジンブレーキをかけたものの、慌ててハンドルを切ったので今度は右の山壁が目前に。一瞬、「もうだめか」と思いながらも一度左に、また右に、と振られつつも立て直し、スピードも落ちて、なんとか激突を避けることができました。対向車がなかったことが幸いでした。思い出すと今でもドキドキします。

シーズン初めで注意していたつもりでしたが、路面が凍っていることを軽んじるなどまだ油断が残っていたので、早めにこの経験をしたので、以来一層の注意を怠らないよう誓い、「安全速度を守る」「カーブの手前でスピードを落とす」「交差点では必ず安全を確かめる」「一時停止で横断歩行者の安全を守る」「飲酒運転は絶対しない」の安全運転5則をいま一度唱えています。

平和な国土に生活する私たちは水と安全はただだと思ってきました。しかし最近頻発する異常気象による災害やい

つ巻き込まれるともわからぬい事件や事故、さらにいま直面しているコロナの脅威など常に危険がつきまとうことを身近に感じています。こうした身にふりかかる危険を排除する意識なしには、さすがに安全は得られません。

安全は、危険が極力抑えられて危機的な状態が発生しにくい状況のこと、安心は、設定された安全基準に対して個人的に気がかりのないことだそうです。最近「安全安心」「安心安全」と二つを重ねた使われ方をよく見ますが、ただの強調なのか、どう使い分けているのかその違いがよく分かりません。「安全安心

いよいよ冬本番、年齢とともに雪かきも辛くなってきたし、転倒や屋根からの落雪も心配です。知人が昨冬マンションに転居し「快適だよ」と言いますが、自分自身の現状からはそれも現実的ではありません。同じように雪の多いところに住んでいらっしゃる小説家の小檜山博さんから手紙に「また冬がきますが、もう怯えないことにします。冬のことには春がくるからです」とあり、大いに勇気づけられました。私も雪に負けずに乗り切ろうと思えます。もちろん、安全運転を心掛けながら。